

古文ドリル：「なむ」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「なむ」の4用法

古文の「なむ」は、**複数の用法**を持つ識別最頻出語。

用法	接続	訳
① 完了「ぬ」未然+推量「む」	連用形+「なむ」	～してしまうだろう
② 願望（他者）「なむ」	未然形+「なむ」	～してほしい
③ 係助詞「なむ」	体言・連体形・連用形等	強調（～こそ）
④ ナ変動詞未然+推量「む」	「死なむ」「往なむ」	死ぬだろう

識別の鉄則

1. **連用形+なむ** → 完了「ぬ」未然+推量「む」
2. **未然形+なむ** → 願望（他者へ）「～してほしい」
3. **体言・連体形等+なむ** → 係助詞（強調）
4. 「**死なむ・往なむ**」 → ナ変動詞

→ **直前の活用形** が決定的。

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。

こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① まず **直前の活用形** だけ見る（これで9割決まる）

「なむ」の識別は **直前** で決まる。 - 直前が **連用形**（～き／～ひ／～り など i段/e段） → **完了**
「ぬ」未然+推量「む」（～してしまうだろう） - 直前が **未然形**（～あ／～は／～ら など a段） →
願望「なむ」（～してほしい） - 直前が **体言・連体形** → **係助詞**「なむ」（強調）

→ 動詞の末尾の音で **連用形か未然形か** を判定するのが最速。

コツ② 「死なむ／往なむ」だけは特殊（暗記しろ）

ナ変動詞「死ぬ／往ぬ」の未然形「死な／往な」＋「む」→ **ナ変＋推量「む」**。「死ぬだろう／行ってしまうだろう」と訳す。

→ 「死なむ」「往なむ」「去なむ」を見たら即・ナ変で確定。

コツ③ 係助詞「なむ」は文末が連体形で結ぶ

体言や連体形に「なむ」がついて、文末が連体形になっていれば **係り結びの係助詞**。例：月**なむ**清く照る／都**なむ**思ふ

→ 「なむ＋…連体形。」のリズムを見つけたら即・係助詞。

コツ④ 訳の自然さで最終確認

迷ったら3パターンで訳してみる。 - 「～してしまうだろう」（完了＋推量）… 動作の確定的予想 - 「～してほしい」（願望）… 他者への希望 - 「～こそ」（係助詞）… 強調・係り結び

→ 文脈で最も自然な訳を選ぶ。

試験本番でのチェック順序

1. 「死なむ／往なむ」→ ナ変＋む（即答）
2. 直前が **連用形（i段／e段）** → 完了「ぬ」未然＋推量「む」
3. 直前が **未然形（a段）** → 願望（他者へ）
4. 直前が **体言・連体形** → 係助詞（強調）

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- カ変「来」は「**こなむ**」（未然＝願望）／「**きなむ**」（連用＝完了＋推量）で形が違う
- 同じ「降りなむ」でも、上の動詞「降る」の未然「降ら」と連用「降り」で識別が変わる
- 文末が連体形で結ぶ → 係助詞のサイン（係り結びを見逃すな）

採点表

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

Q1. 「なむ」を識別せよ。

春来（こ）なむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：カ変「来」未然形「こ」＋「なむ」（願望）。「春が来てほしい」。

Q2. 「なむ」を識別せよ。

雨降らなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「降ら」未然＋「なむ」。「雨が降ってほしい」。

Q3. 「なむ」を識別せよ。

月なむ清く照る。

答え：係助詞「なむ」（強調） 解説：体言「月」＋「なむ」。「月こそ清く照る」（強調）。連体形「照る」で結ぶ（連体形結び）。

Q4. 「なむ」を識別せよ。

死なむ。

答え：ナ変動詞「死ぬ」未然形「死な」＋推量「む」 解説：ナ変「死ぬ」未然「死な」＋「む」。「死ぬだろう」。

Q5. 「なむ」を識別せよ。

物言ひなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「言ひ」連用＋「な」（完了ぬ未然）＋「む」。「言ってしまうだろう」。

Q6. 「なむ」を識別せよ。

君も来なむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「来」未然＋「なむ」。「君も来てほしい」。

Q7. 「なむ」を識別せよ。

春なむ待ちける。

答え：係助詞「なむ」（強調） 解説：体言「春」＋「なむ」＋過去「けり」連体形「ける」（係り結びの結び）。「春を待っているのだ」。

Q8. 「なむ」を識別せよ。

風吹かなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「吹か」未然＋「なむ」。「風が吹いてほしい」。

Q9. 「なむ」を識別せよ。

早く帰りなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「帰り」連用＋「なむ」。「早く帰ってしまうだろう」。

Q10. 「なむ」を識別せよ。

月なむ輝く。

答え：係助詞「なむ」（強調） 解説：「月」＋「なむ」＋連体形「輝く」（連体結び）。

Q11. 「なむ」を識別せよ。

心安く眠らなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「眠ら」未然＋「なむ」。「心安く眠ってほしい」。

Q12. 「なむ」を識別せよ。

物言ひなば、咎めらる。

答え：完了「ぬ」未然「な」＋接続助詞「ば」（仮定） 解説：四段「言ふ」連用形「言ひ」＋完了「ぬ」未然形「な」＋「ば」（順接仮定）。「もし物を言ってしまったら、咎められる」。「なむ」ではないが、「な」の識別力を試す引っ掛け問題。

Q13. 「なむ」を識別せよ。

我れ往なむ。

答え：ナ変動詞「往ぬ」未然形「往な」＋推量「む」 解説：ナ変「往ぬ」未然＋「む」。「私は立ち去るだろう／立ち去ろう」。

Q14. 「なむ」を識別せよ。

知りなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「知り」連用＋「な」＋「む」。「知ってしまうだろう」。

Q15. 「なむ」を識別せよ。

君をなむ思ふ。

答え：係助詞「なむ」（強調） 解説：「君を」＋「なむ」＋連体「思ふ」。係助詞「なむ」が連体形「思ふ」を結ぶ典型的な係り結び。

Q16. 「なむ」を識別せよ。

春来なむと思ふ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「来」未然＋「なむ」＋引用「と」。「春が来てほしいと思う」。

Q17. 「なむ」を識別せよ。

早く起きなむ。

答え：完了「ぬ」未然+推量「む」 解説：「起き」連用+「な」+「む」。「早く起きてしまうだろう」。

Q18. 「なむ」を識別せよ。

月見なむ。

答え：完了「ぬ」未然+推量「む」 解説：「見」連用+「な」+「む」。「月を見てしまうだろう」。

Q19. 「なむ」を識別せよ。

雨止まなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「止ま」未然+「なむ」。「雨が止んでほしい」。

Q20. 「なむ」を識別せよ。

花咲かなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「咲か」未然+「なむ」。「花が咲いてほしい」。

基礎編 / 20

【第2部】標準編（Q21～Q50）

直前語と結びを意識した識別。

Q21. 「なむ」を識別せよ。

花咲きなむ。

答え：完了「ぬ」未然+推量「む」 解説：「咲き」連用+「な」+「む」。「花が咲いてしまうだろう」。

Q22. 「なむ」を識別せよ。

風も吹かなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「吹か」未然＋「なむ」。「風も吹いてほしい」。

Q23. 「なむ」を識別せよ。

我が宿なむよき。

答え：係助詞「なむ」（強調） 解説：体言「我が宿」＋「なむ」＋連体「よき」。「我が宿こそよい」。

Q24. 「なむ」を識別せよ。

早く死なむ。

答え：ナ変「死ぬ」未然＋推量「む」 解説：「死な」未然＋「む」。「早く死のう／死ぬだろう」。

Q25. 「なむ」を識別せよ。

急ぎ行きなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「行き」連用＋「な」＋「む」。「急いで行ってしまいうだろう」。

Q26. 「なむ」を識別せよ。

子もすこやかに育たなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「育た」未然＋「なむ」。「子も健やかに育てほしい」。

Q27. 「なむ」を識別せよ。

我が宿なむ梅咲きける。

答え：係助詞「なむ」 解説：「我が宿」＋「なむ」。連体形「ける」で結ぶ。「我が宿に梅が咲いた」（強調）。

Q28. 「なむ」を識別せよ。

我れ往なむと思ふ。

答え：ナ変「往ぬ」未然＋推量「む」 解説：「往な」未然＋「む」。「私は立ち去ろうと思う」。

Q29. 「なむ」を識別せよ。

早く忘れなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「忘れ」（下二段連用）＋「な」＋「む」。「早く忘れてしまおう」。

Q30. 「なむ」を識別せよ。

月の都へ帰らなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「帰ら」未然＋「なむ」。「月の都へ帰ってほしい」。

Q31. 「なむ」を識別せよ。

雪なむ降りける。

答え：係助詞「なむ」 解説：体言「雪」＋「なむ」＋連体「降りける」。

Q32. 「なむ」を識別せよ。

我れも死なむ。

答え：ナ変「死ぬ」未然＋推量「む」 解説：「死な」未然＋「む」。「私も死ぬだろう／死のう」。

Q33. 「なむ」を識別せよ。

言ひなむとすれど、声出でず。

答え：完了「ぬ」未然＋意志「む」 解説：「言ひ」連用＋「な」＋「む」。「言ってしまうおうとするが、声が出ない」。

Q34. 「なむ」を識別せよ。

故里に帰らなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「帰ら」未然＋「なむ」。「故里に帰ってほしい」。

Q35. 「なむ」を識別せよ。

雪降る夜なむ心細き。

答え：係助詞「なむ」 解説：「夜」＋「なむ」＋連体「心細き」。

Q36. 「なむ」を識別せよ。

急ぎ往なむ。

答え：ナ変「往ぬ」未然＋意志「む」 解説：「往な」未然＋「む」。「急いで立ち去ろう」。

Q37. 「なむ」を識別せよ。

涙落ちなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「落ち」連用＋「な」＋「む」。「涙が落ちてしまうだろう」。

Q38. 「なむ」を識別せよ。

春風吹かなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「吹か」未然＋「なむ」。「春風が吹いてほしい」。

Q39. 「なむ」を識別せよ。

今日なむ祭りはある。

答え：係助詞「なむ」 解説：体言「今日」＋「なむ」＋連体形「ある」（ラ変動詞「あり」連体形）。係助詞「なむ」が連体形で結ばれる係り結び。「今日こそ祭りがある」。

Q40. 「なむ」を識別せよ。

早く立ちなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋意志「む」 解説：「立ち」連用＋「な」＋「む」。「早く立ってしまおう」。

Q41. 「なむ」を識別せよ。

主君に仕へなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋意志「む」 解説：「仕へ」（下二段連用）＋「な」＋「む」。「主君にお仕え
してしまおう」。

Q42. 「なむ」を識別せよ。

鳥も鳴かなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「鳴か」未然＋「なむ」。「鳥も鳴いてほしい」。

Q43. 「なむ」を識別せよ。

雨なむ降る。

答え：係助詞「なむ」 解説：体言「雨」＋「なむ」＋連体「降る」。

Q44. 「なむ」を識別せよ。

死なむと思へど、生きながらふ。

答え：ナ変「死ぬ」未然＋意志「む」 解説：「死な」未然＋「む」。「死のうと思うが、生き長らえて
いる」。

Q45. 「なむ」を識別せよ。

待ちなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「待ち」連用＋「な」＋「む」。「待つてしまおうだろう」。

Q46. 「なむ」を識別せよ。

春来なむかすと祈る。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「来」未然＋「なむ」。「春が来てほしいと祈る」。

Q47. 「なむ」を識別せよ。

鶯なむ鳴く。

答え：係助詞「なむ」 解説：「鶯」＋「なむ」＋連体「鳴く」。

Q48. 「なむ」を識別せよ。

京へ往なむと思ひ立つ。

答え：ナ変「往ぬ」未然＋意志「む」 解説：「往な」＋「む」。「京へ行こうと思ひ立つ」。

Q49. 「なむ」を識別せよ。

物の音聞こえなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「聞こえ」連用＋「な」＋「む」。「物音が聞こえてしまうだろう」。

Q50. 「なむ」を識別せよ。

心安からに過ぎさなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「過ぎさ」未然＋「なむ」。「心安らかに過ごしてほしい」。

標準編 / 30

【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

引っかけパターン・敬語・係り結び。

Q51. 「なむ」を識別せよ。

いと心細く、京へ帰らなむと思ふ。

答え：願望の終助詞「なむ」 解説：「帰ら」は四段動詞「帰る」未然形。完了「ぬ」は連用形接続なので、未然形「帰ら」＋完了「な」は不可。よって未然形＋「なむ」は願望の終助詞と判定する。「(誰かが／自分が) 京へ帰ってほしい・帰りたい」。

Q52. 「なむ」を識別せよ。

鳥のこゑなむいとあはれなる。

答え：係助詞「なむ」 解説：「鳥のこゑ」＋「なむ」＋連体形「あはれなる」。「鳥の声がしみじみとしている」。

Q53. 「なむ」を識別せよ。

雪深ければ往なむにも、足ふみがたし。

答え：ナ変「往ぬ」未然＋意志「む」 解説：「往な」＋「む」。「立ち去ろうにも、足を踏むのが難しい」。

Q54. 「なむ」を識別せよ。

月隠れなむほどに。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」（連体形「む」） 解説：「隠れ」連用＋「な」＋「む」体言「ほど」修飾。「月が隠れてしまうだろう頃に」。

Q55. 「なむ」を識別せよ。

我が思ふ人に逢はなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「逢は」未然＋「なむ」。「我が思う人に逢ってほしい（逢えますように）」。

Q56. 「なむ」を識別せよ。

都の事なむ忘れざりし。

答え：係助詞「なむ」 解説：「都の事」＋「なむ」＋連体「忘れざりし」。

Q57. 「なむ」を識別せよ。

いざ往なむよ。

答え：ナ変「往ぬ」未然＋意志「む」 解説：「いざ」と呼応。「さあ、行こう」。

Q58. 「なむ」を識別せよ。

涙の落ちなむを、人に見られじ。

答え：完了「ぬ」未然+推量「む」（連体形） 解説：「落ち」連用+「な」+「む」を体言代用。「涙が落ちてしまうことを、人に見られまい」。

Q59. 「なむ」を識別せよ。

春なむ来にける。

答え：係助詞「なむ」 解説：「春」+「なむ」+連体「来にける」。「春が来てしまった」（強調）。

Q60. 「なむ」を識別せよ。

風吹かなむやと待つ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「吹か」未然+「なむ」。「風が吹いてほしいなあと待つ」。

Q61. 「なむ」を識別せよ。

あはれ世の中なむかなしき。

答え：係助詞「なむ」 解説：「世の中」+「なむ」+連体「かなしき」。「世の中こそ悲しい」。

Q62. 「なむ」を識別せよ。

死なむこそ、いみじけれ。

答え：ナ変「死ぬ」未然+推量「む」（連体） 解説：「死な」+「む」体言代用。「死ぬことこそ、すばらしい」。

Q63. 「なむ」を識別せよ。

早く忘れなむ。

答え：完了「ぬ」未然+推量「む」 解説：「忘れ」（受身・自発）連用+「な」+「む」。「早く忘れられてしまうだろう」。

Q64. 「なむ」を識別せよ。

我が君もすこやかに**おはせなむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「おはせ」未然＋「なむ」。「我が君も健やかでいらっしやってほしい」。

Q65. 「なむ」を識別せよ。

鶯**なむ**鳴きける。

答え：係助詞「なむ」 解説：「鶯」＋「なむ」＋連体「鳴きける」。

Q66. 「なむ」を識別せよ。

物の音聞こえ来**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「来」連用＋「な」＋「む」。「物音が聞こえてくるだろう」。

Q67. 「なむ」を識別せよ。

いざ給へ、往**なむ**。

答え：ナ変「往ぬ」未然＋意志「む」 解説：「いざ」と呼応。「さあいらっしやい、行きましょう」。

Q68. 「なむ」を識別せよ。

涙堰きあへ**ぬ**こそ、をかしけれ。

答え：（参考）「ぬ」は打消連体 解説：「なむ」ではないが混同しやすい。「あへぬ」＝「堪えられない」。

Q69. 「なむ」を識別せよ。

春の山風吹か**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「吹か」未然＋「なむ」。「春の山風が吹いてほしい」。

Q70. 「なむ」を識別せよ。

いとさまよく言ひなむ。

答え：完了「ぬ」未然+推量「む」 解説：「言ひ」連用+「な」+「む」。「とても上手に言ってしまうだろう」。

Q71. 「なむ」を識別せよ。

君なむかしこき人にて。

答え：係助詞「なむ」 解説：「君」+「なむ」。「君こそ畏れ多い方であって」。

Q72. 「なむ」を識別せよ。

山深く往なむ。

答え：ナ変「往ぬ」未然+意志「む」 解説：「往な」+「む」。「山深く立ち去ろう」。

Q73. 「なむ」を識別せよ。

鶯の声聞こえなむ頃。

答え：完了「ぬ」未然+推量「む」(連体) 解説：「聞こえ」連用+「な」+「む」、体言「頃」修飾。

Q74. 「なむ」を識別せよ。

雪深く積もらなむ。

答え：願望(他者)「なむ」 解説：「積もら」未然+「なむ」。「雪が深く積もってほしい」。

Q75. 「なむ」を識別せよ。

月の都の人なむ遣はす。

答え：係助詞「なむ」 解説：「月の都の人」+「なむ」+連体「遣はす」。「月の都の人をこそ遣わす」。

Q76. 「なむ」を識別せよ。

早く死なむと願ふ。

答え：ナ変「死ぬ」未然＋意志「む」 解説：「死な」＋「む」。「早く死のうと願う」。

Q77. 「なむ」を識別せよ。

やがて出でなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「出で」連用＋「な」＋「む」。「やがて出てしまうだろう」。

Q78. 「なむ」を識別せよ。

故里より便りもあらなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「あら」未然＋「なむ」。「故里より便りがあってほしい」。

Q79. 「なむ」を識別せよ。

雲井なむ遠き。

答え：係助詞「なむ」 解説：「雲井」＋「なむ」＋連体「遠き」。「雲井こそ遠い」。

Q80. 「なむ」を識別せよ。

人もこそ来め、我れも往なむ。

答え：ナ変「往ぬ」未然＋意志「む」 解説：「往な」＋「む」。「人も来るだろうから、私も行こう」。

応用編 / 30

【第4部】入試レベル (Q81～Q100)

難関大頻出。

Q81. 「なむ」を識別せよ。

月や**なむ**いみじう明かき。

答え：係助詞「なむ」（強調） **解説：**「月や」＋「なむ」＋連体形「明かき」（形容詞「明かし」連体形）。係助詞「なむ」が連体形で結ばれる係り結び。「月はたいそう明るい（ことよ）」。

Q82. 「なむ」を識別せよ。

あはれ、夢のごとくに過ぎ**なむ**。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 **解説：**「過ぎ」（上二段連用）＋「な」＋「む」。「夢のように過ぎてしまうだろう」。

Q83. 「なむ」を識別せよ。

心ばへ深くおはせ**なむ**。

答え：願望（他者）「なむ」 **解説：**「おはせ」（サ変未然）＋「なむ」。「思いやり深くいらっしやってほしい」。

Q84. 「なむ」を識別せよ。

木の葉のかかり**なむ**ほどに、霜置きぬ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」（連体） **解説：**「かかり」連用＋「な」＋「む」体言修飾。「木の葉がかかってしまう頃に」。

Q85. 「なむ」を識別せよ。

あれ**なむ**いみじき翁にてはべる。

答え：係助詞「なむ」 **解説：**「あれ」（指示代名詞）＋「なむ」＋連体「はべる」。「あれが大変な翁です」。

Q86. 「なむ」を識別せよ。

早う死**なむ**と、頭をたたきて泣く。

答え：ナ変「死ぬ」未然＋意志「む」 解説：「死な」＋「む」。「早く死のうと頭をたたいて泣く」。

Q87. 「なむ」を識別せよ。

御文遣はさなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「遣はさ」未然＋「なむ」。「御文を遣わしてほしい」。

Q88. 「なむ」を識別せよ。

物言はれぬ気色を、見なむ人もあらじ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」（連体） 解説：「見」連用＋「な」＋「む」体言「人」修飾。「(黙ったままの様子を) 見てしまうだろう人もいないだろう」。

Q89. 「なむ」を識別せよ。

雪なむ降りて、山も白かりける。

答え：係助詞「なむ」 解説：「雪」＋「なむ」＋連体「白かりける」。

Q90. 「なむ」を識別せよ。

賢き人なむ世を捨つる。

答え：係助詞「なむ」 解説：「賢き人」＋「なむ」＋連体「捨つる」。「賢い人こそ世を捨てる」。

Q91. 「なむ」を識別せよ。

我れひとり残されて、いかにせなむ。

答え：願望の終助詞「なむ」 解説：「せ」はサ変動詞「す」未然形。完了「ぬ」は連用形「し」接続なので、未然形「せ」＋完了「な」は不可。よって未然形＋「なむ」は願望の終助詞と判定する。「私一人残されて、どうにかしてほしい」。

Q92. 「なむ」を識別せよ。

今日なむ心安く侍る。

答え：係助詞「なむ」 解説：「今日」＋「なむ」＋連体「侍る」。

Q93. 「なむ」を識別せよ。

やがて我が身も尽きなむ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「尽き」連用＋「な」＋「む」。「やがて我が身も尽きてしまうだろう」。

Q94. 「なむ」を識別せよ。

死なむ命惜します。

答え：ナ変「死ぬ」未然＋推量「む」（連体） 解説：「死な」＋「む」体言「命」修飾。「死ぬような命を惜しまない」。

Q95. 「なむ」を識別せよ。

心安く眠らなむと祈る。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「眠ら」未然＋「なむ」。「心安く眠ってほしいと祈る」。

Q96. 「なむ」を識別せよ。

故院なむかく仰せられし。

答え：係助詞「なむ」 解説：「故院」＋「なむ」＋連体「仰せられし」。

Q97. 「なむ」を識別せよ。

山伏に逢ひなむかすと願ふ。

答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「逢ひ」連用＋「な」＋「む」。「山伏に逢ってしまうだろうなあと願う」。

Q98. 「なむ」を識別せよ。

神仏の御けしき安らけくおはせなむ。

答え：願望（他者）「なむ」 解説：「おはせ」未然＋「なむ」。「神仏の御様子が安らかでいらっしや
ってほしい」。

Q99. 「なむ」を識別せよ。

いざ、子ども、往なむ。

答え：ナ変「往ぬ」未然＋意志「む」 解説：「いざ」と呼応。「さあ、子どもたちよ、立ち去ろ
う」。

Q100. 「なむ」を識別せよ。

あはれと思ふ事なむ多かりける。

答え：係助詞「なむ」 解説：「事」＋「なむ」＋連体「多かりける」。「しみじみと思うことが多か
った」。

入試レベル /20

採点振り返り

- 基礎 (Q1～Q20) : /20
- 標準 (Q21～Q50) : /30
- 応用 (Q51～Q80) : /30
- 入試レベル (Q81～Q100) : /20
- 合計 : /100

8割（80点）以上で入試対応レベル。

あとがき

「なむ」識別の核心： - 直前の活用形 で4種類を判別 - 連用形 → 完了「ぬ」未然＋推量「む」 - 未
然形 → 願望（他者） - 体言・連体形 → 係助詞（強調） - 「死なむ・往なむ」 → ナ変動詞未然＋
推量

入試の最頻出識別テーマ。活用形の見極めができれば、絶対に得点できる。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

